

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案件番号	7	
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）	
契約の件名及び数量	情報セキュリティ等支援業務	
契約締結日	2025年12月12日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社EZONE	
入札経緯及び結果	2025年11月04日公告 2025年11月26日入札書受領期限 2025年11月28日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	業務内容を詳細に記載した
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務引継ぎ期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	契約事務取扱細則に基づく公告期間を確保した
④公告周知方法の改善	○	当センターホームページ掲載及び院内掲示を行った。
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明受領者数が1者であったため、業者等から聴き取りすることは出来なかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>次回の契約においては、業務等準備期間を引き続き確保することに加えて、公告期間を確保することも検討したうえで競争に付するとともに、事前に参加可能と思われる業者に対し履行可否等を確認したうえで、受託できる業者に対して、入札公告を掲載したことを周知する。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>引き続き業務等準備期間を確保するとともに、必要に応じて公告期間の確保についても検討した上で、適正な競争に付すること。あわせて、事前に参加が見込まれる業者に対し履行の可否等を確認し、応札可能な業者へ入札公告の掲載を周知するなど、引き続き複数業者の参加促進に努めること。</p>		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
<p>準備期間の確保に努めるとともに、応札可能な業者に入札公告について周知するなど、可能な限り競争を促せるように検討する。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における一者応札・一者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案件番号	8	
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）	
契約の件名及び数量	【再公告】外部委託検査（メラノーマBRAF遺伝子変異解析（ダブルフェニブ）） 単価契約	
契約締結日	2025年11月28日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社LSIメディエンス	
入札経緯及び結果	2025年11月04日公告 2025年11月12日入札書受領期限 2025年11月17日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様書については、最低限必要な内容で作成されている。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務開始に十分な時間を設けている。
③公告期間の見直し	○	5日間の再公告を行った。再公告前は10日間行った。
④公告周知方法の改善	○	HP・掲示板
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	○	応札者が1者だったが、ほかの業者に聞き取りを行ったところ、その検査項目は取り扱っていないとのことであった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
次回からは、応札可能な業者が他にいないか事前確認公募等を行って確認し、競争性が無いと考えられる場合には随意契約も検討する。		
契約監視委員会のコメント		
次回以降の契約に当たっては、事前確認公募等により応札可能な業者の有無を確認した上で、競争性が見込まれない場合には、一般競争入札の可否を改めて検討し、必要に応じて随意契約への切替えを検討すること。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今まで同様に、可能な限り競争を促せるように検討するとともに、状況に応じて随意契約への移行を検討する。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における一者応札・一者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	国立研究開発法人国立がん研究センター	
案件番号	9	
入札及び契約方式	一般競争（最低価格落札方式）	
契約の件名及び数量	感染性廃棄物等収集運搬業務委託	
契約締結日	2025年10月29日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本メディカル・ウェイスト・マネジメント株式会社	
入札経緯及び結果	2025年08月27日公告 2025年10月06日入札書受領期限 2025年10月10日開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	適正な予定数量となるよう見直した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務引継ぎ期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	52日間の官報掲載を行った。
④公告周知方法の改善	○	官報・HP・掲示板
⑤電子入札システムの導入	×	無
⑥業者等からの聴き取り	×	入札説明受領者数が1者であったため、業者等から聴き取りすることは出来なかった。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>今回の契約においては、業務等準備期間を引き続き確保することに加えて、事前に参加可能と思われる業者に履行可否等を確認したうえで、受託できる業者に対して、入札公告を掲載したことを周知する。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>引き続き業務等準備期間を確保するとともに、事前に参加が見込まれる業者に履行可否等を確認した上で、受託可能な業者に対して入札公告の掲載を周知するなど、複数業者の参加促進に努めること。</p>		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
<p>準備期間の確保に努めるとともに、応札可能な業者に入札公告について周知するなど、可能な限り競争を促せるように検討する。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
近藤 浩明（監事）、小野 高史（監事）、加藤 一郎（外部有識者）、岡村 俊克（外部有識者）		

(注) 1. 「一者応札・応募等の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における一者応札・一者応募についての改善方策等について（依頼）」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。